

改題

土楽たより

どうらく

Kogure 農場 11月号 (NO43)

2013年11月10日(日)発行(毎月10日)

【農暦】夜なべは意外に楽しい!

○日も短くなり肌寒さを感じる。炬燵を出し使い始めた。周りの木々は青々としているが、観光地の紅葉のたよりが聞かれる。7月には、たわわに実を付けたブルーベリーの葉だけが鮮やかに紅葉している。遅いと思っていたら広葉樹のシャラなども紅葉していた。今日(7日)は立冬である。異常気象のことを毎回話題にしているが、今日も秋田では突風(竜巻)、豪雨による災害のニュースである。異常気象(*1)は続いている。3日は一の酉で今年は一の酉までである。一の酉がある年は火事が多いと子供の頃聞かされた。一の酉の時期は北風が吹いて寒かった記憶がある。長袖にはなったがそれ程の寒さではない。平均気温は上っているのが実感される。

○地球温暖化対策を協議するCOP19(*2)がポーランドの首都ワルシャワで11日から開催される様だが、日本は排出ガス削減目標を大幅にダウンさせると云う。原発停止が大きな理由であるとか、変な選択肢にしてはいけないが地球温暖化対策の努力は緩めてはいけないと思う。ニュースの取り上げも少なく関心は別の所へ行ってしまった感がある。このまま異常気象が続くと作物栽培も行き詰らない保障はないのである。こんな事で良いのだろうかと思ってしまう。

○白菜の虫害の相談メールがあったが、苗作りで失敗して数株の白菜では比較しようもなく、相談以前の状況では役に立っていない。例年、悩まされるカメムシの発生が、今年は少ない様に思える。これから収穫になる黒豆を見てもほとんどいない。しっかり観察した訳ではないので断定はできないが全般的に虫が少ないように感じる。害虫が少なくなるのは好ましい事であるが、異常気象のことなどを考えると単純に喜んで良いのか気になる場所である。

○10月中には小豆と黒小豆、金時豆を、11月には黒豆の収穫を終えようと漠然と目標にした。しまりのない時間軸を律しようと思つての事である。10月の下旬から収穫作業に注力している。収穫、乾燥、選別の作業を繰り返し行って来ている。青い莢が多く収穫を手控えたこともあったが、2日にはほぼ終える事が出来た。未熟莢のものが少し残っている。心配された収量も、選別作業も終わっていないので判らないが、悪くはない様である。選別作業は作業小屋でと思うが、ズボラして居間でテレビを見ながら“夜なべ”の作業をしている。夜なべは意外に楽しい。



<小豆>自然の色はいい
鮮やかな赤。2日撮影



<黒小豆>水戸自然農
のOさんからの種で初
めて栽培。2日撮影

○青々としているシシトウ、ピーマン、トマトなどを見ると処分するのが惜しくなる。小豆などの収穫を優先している事もあるが悪い癖がでて作業を先送りしてしまう。冬の気候に一気に進むのではと思う。急がねばと焦る。

*** 1** ; 9日朝の日経速報によると“フィリピンの気象当局は「今年発生した台風で最大の強さ」だとして、厳重な警戒を呼び掛けた。日本の気象庁によると台風30号は一時、中心気圧895ヘクトパスカル、最大風速65メートル、最大瞬間風速90メートルと、強い竜巻並みの勢力となった。”と聞いたことない数値である。温暖化対策は優先せねば！

*** 2** ; 温室効果ガスの排出量の日本の新目標は2020年までに05年比3.8%減に変えてCOP19に表明の見通しで、従来は90年比25%削減だったが90年比だと削減でなく約3%増(4千万トン増)となる。従来の目標は原発の増設が前提だったからと云う。

【楽農】黒小豆、小豆、金時豆など収穫！

<ハウス> ; トマト、シシトウは青々だが、片付け待ち。

<畑A> ; 大根と僅かの白菜が生育中。除草と片付け。

<畑B> ; 黒小豆、小豆、金時豆など収穫、乾燥、選別

黒豆はこれから。一部枝豆として収穫

* 片付け作業と除草、カボチャなど僅かながら出荷。



<種の採取> トマト、シシトウ、ゴウヤなど種を取る。少々時機を逸したが、..。2日撮影

【楽市】イベント交流・直売など

○笠間市吟詠剣詩舞道大会に参加(26日)

・笠間市公民館まつりに参加の吟詠剣詩舞道大会で構成吟などを行う。

○エコピア柏で神田川クルージング(*3)に参加(9日)

・日本橋からの船からの見学は2度目になる。神田川は水の浄化は進んだと聞くが、見事と云いたくなるほど高速道路で覆われていた。寒い中大勢の人が参加していた。

○その他 ;

・元会社OB仲間の菜園交流が27-28日に予定されていたが台風で中止になった。誘われて栗講習会、ふるさとまつりなどに参加する。

*** 3** ; ガイドの話では、両国橋は武蔵の国と下総の国の間に架かった橋でたつた所からの命名だったとの事。詩吟の大会で「夜墨水を下る」を吟じたが“兩岸の愁風二州を下る”と詩文にある。二州とは武蔵と下総である。詩文にある様な風情は全くなかった。634m(ムサシ)の高さを誇るスカイツリーは武蔵の国側にはない。

【つぶやき=Tweet】年齢こそ熟年だが青臭い自分が！

○4日には、日の出棧橋から浅草行きのコースを入れた東京湾の船クルーズなどの東京見聞?をした。孫娘との前々からの約束を果たした。OB会などでしか来ない東京は来る度に大きく変化している。スクラップ&ビルドが、衰えずに進行している。浦島太郎の状態に

なる。これほどの一極集中を続けて大丈夫なのかと今更ながら心配になる。柏のエコ仲間と昨年の夏に、日本橋からの船クルーズに参加して水運の町であった東京を再認識した事や、趣は違うが、日の出棧橋から浅草行きが、山仲間の数十年前から記念日の酒宴のコースになっていた事などあり、この辺を、孫娘に見せてやろうと考えおり、やっと実行に移せたのである。

○6日の深夜ラジオで藤沢周平は地方の藩、池波正太郎は江戸を舞台にした時代小説を書いており、鬼平犯科帳の筋立てには江戸の水運は不可欠になっていると話されていた。聴いていて、ソウルの河川の復活の話やベネチアの水上タクシーなどの事が思い出された。河川の復活や水運の活用は、癒しもある環境に優しい素敵な“まちづくり”に繋がるような気がした。日本橋の高速道路を撤去の話があると聞くと、9日に神田川のクルージングに参加して、高速道路に覆われた東京の河川は見直しの時に来ている様に思えた。

○先号で藻谷浩介の”デフレの正体（角川書店）“を読み始めたこと書いたが、高齢化が益々進む日本の基本データによる現状（評価）分析。それだけでなく中国を含めたアジアとの、経済視点でのこれからなどの指摘は首肯するものばかりであった。おわりにの項では、都市開発地域拡大、土地神話の崩壊、中途半端な郊外開発地は田園や林野の戻す事（コンパクトシティ化）が進む、個性を持った都市景観の復活が図られる。と云っている。地方都市の同じ景観にウンザリしていたので、この部分だけでも共感してしまった。購読ばかり薦めているが、アベノミックスを正しく（批判的に）理解するためにも、この本を是非と云いたい。

○2日NHKの日本新生「熟年サバイバル～年金減額時代を生きる～」を、たまたま見た。終わりかかっていたが、関心があったので見る。藻谷浩介さんも出ていた。これからの日本はどうなるか、如何に生きて行くか。論議や取り組みが、いろいろの所で始まっている様で頼もしく思いながら、私の農的生活と絡めて考えていた。

○私の農的生活は、タイミング的にも、時代的にも、今から始めるのが良かったのかも知れない。「少し早すぎだったのよ」は云われる度に、自分の見識の低い先見性？と腰の軽さが反省される。珍しい野菜などやいろいろな事をやって来たことが思い出される。年齢こそ熟年だが青臭い自分が恥ずかしくもなる。だが、青リンゴもいい。

【後記】五穀豊穰と紅葉と美酒をと欲張り楽しみたいですね。暦はあと2枚。笠間に、kogure農場にお越し下さい。

【特に編集せずランダムな構成にします】



＜笠間のかかし＞昭和の農村風景の見出しで新聞で紹介された。28日撮影

発行者；Kogure農場・小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

メール；torao-k@nifty.ne.jp

HP；<http://homepage3.nifty.com/toragigi/>